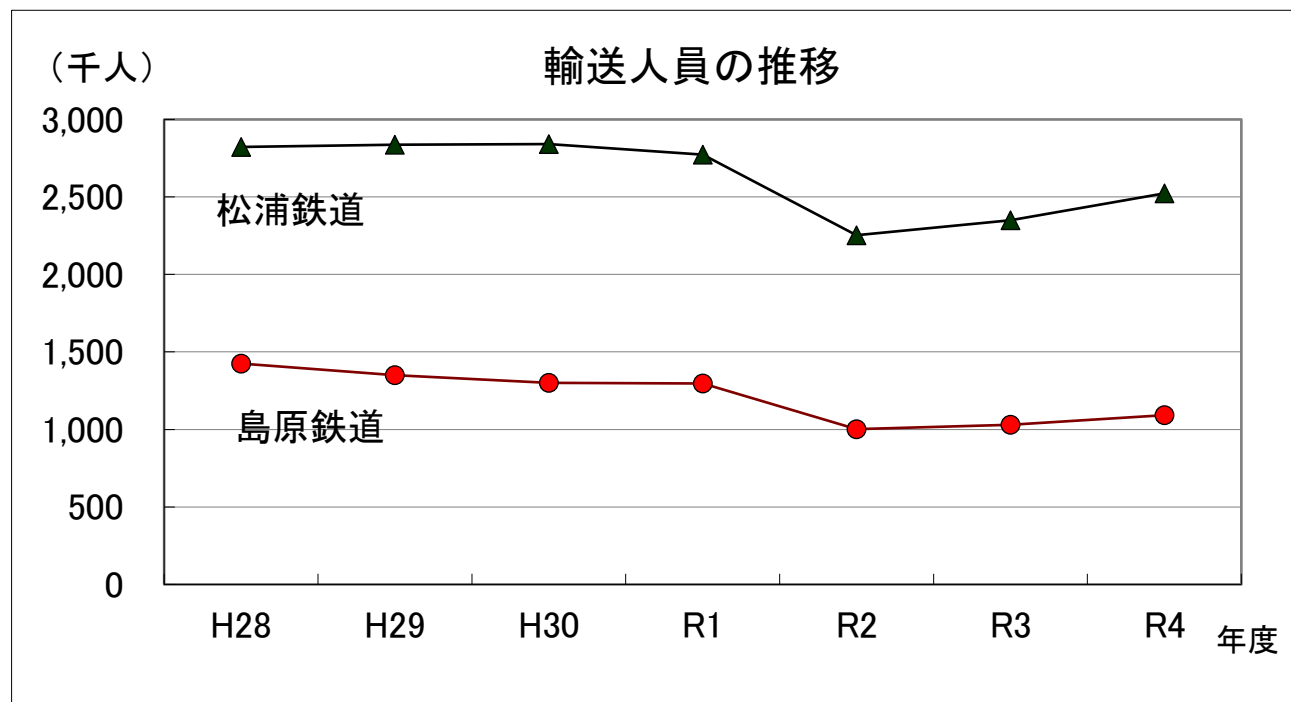


鉄道利用の概況



県内鉄道の緒元

(令和5年4月現在)

鉄道会社		営業キロ (km)	駅数	複線化キロ (km)	複線化率 (%)	電化キロ (km)	電化率 (%)
JR九州	(新幹線)	69.6	5	69.6	100	69.6	100
	(在来線)	135.6	39	8.1	6	36.7	27.1
島原鉄道		43.2	24	－	－	－	－
松浦鉄道		93.8	57	－	－	－	－

※新幹線は、全線(長崎・佐賀両県)に係るもの

※松浦鉄道は、全線(長崎・佐賀両県)に係るもの

利用者数の推移

(単位:千人)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
島原鉄道	1,425	1,351	1,301	1,297	1,002	1,030	1,092
松浦鉄道	2,822	2,837	2,841	2,773	2,253	2,350	2,524

※JR九州は非公表

※島原鉄道と松浦鉄道(長崎・佐賀両県)は、全線各駅の輸送人員の合計

本県に路線を有するＪＲ九州、島原鉄道、松浦鉄道は基幹的な輸送機関として、地域の均衡ある発展と利便性の向上のため、輸送力の増強と輸送サービス改善に努めている。しかし各社、令和元年度末から、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大きく落ち込んでいる。

ＪＲ九州は、令和４年９月２３日に西九州新幹線が武雄温泉から長崎間で開業し、安全運行を基本として、より一層のサービス向上に努め、鉄道利用促進に取り組んでいる。特にＤ＆Ｓ列車「３６ぷらす３」や「ふたつ星４０４７」の運行や、地域のイベントと連携したＪＲ九州ウォーキングの実施など、地域に密着した顧客サービスの向上を図っている。

島原鉄道は、地域に密着した公共交通機関として、朝夕の通勤・通学はもとより、島原半島の観光振興にも重要な役割を果たしている。沿線の少子・高齢化により輸送人員が減少する中、他地域からの観光利用者を誘客するため観光列車「カフェトレイン」を運行している。

同社の輸送人員は、島原半島における少子高齢化の影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用者の大幅な減少により、令和４年度は１，０９２千人で令和元年度比８４．２％となった。

松浦鉄道は、地域に密着した公共交通機関として、朝夕の通勤・通学をはじめ、県北地域の生活・観光に欠かすことのできない移動手段となっている。利用促進のための取組として、令和２年３月に全国相互利用交通系ＩＣカード（ｎｉｍｏｃａ）を導入したほか、令和３年度には観光列車「レトロン号」のリニューアルや車内で沿線の観光案内放送を開始するなど、利用者の利便性向上にも努めている。

同社の輸送人員は平成３０年度までは概ね横ばいで推移してきたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用者の大幅な減少により、令和４年度は２，５２４千人で、令和元年度比９１．０％となった。

県においては、島原鉄道と松浦鉄道の２社に対し、令和２年度から新型コロナウイルス感染症や燃油価格高騰等に係る支援を実施し、地域住民の移動手段の維持・確保に努めている。しかしながら、島原鉄道、松浦鉄道ともに沿線人口の減少や少子高齢化の進行等により厳しい経営環境が続いており、安全運行確保のための施設の適切な維持・管理と併せて、より一層の利用促進などの取組が必要である。

（県交通政策課）

バス利用の概況

年 度	乗合バス				貸切バス			
	走行 キロ (千km)	輸送 人員 (千人)	対前年比 (%)	車両数 (両)	走行 キロ (千km)	輸送 人員 (千人)	対前年比 (%)	車両数 (両)
平成								
20	73,430	91,657	99.0	1,573	17,160	2,557	97.3	519
21	73,036	88,976	97.1	1,571	16,682	2,483	97.1	539
22	73,498	88,125	99.0	1,554	16,552	2,445	98.5	555
23	70,961	87,562	99.4	1,568	17,902	2,626	107.4	562
24	71,705	86,255	98.5	1,566	19,311	2,932	111.7	561
25	71,852	85,579	99.2	1,593	20,324	3,088	105.3	576
26	72,516	84,125	98.3	1,575	20,463	3,178	102.9	618
27	71,705	83,646	99.4	1,572	20,600	3,406	107.2	622
28	70,654	81,531	97.5	1,566	17,442	3,478	102.1	667
29	68,992	79,605	97.6	1,590	17,377	3,547	102.0	678
30	67,821	76,977	96.7	1,546	15,221	3,365	94.9	705
令和								
1	64,805	72,656	94.4	1,524	13,345	2,715	80.7	612
2	57,560	56,291	77.5	1,495	3,580	1,129	41.6	560
3	56,067	56,184	99.8	1,414	4,282	1,041	92.2	534

バスは、通勤、通学、観光客の足として、また、鉄道駅や空港等との主要なアクセス手段として果たす役割は大きい。特に、高齢化が進み全国で最も離島が多い本県では、地域住民の生活を支える重要な交通手段である。

令和4年3月末現在、県内に本社を置く乗合バス事業者は14社で、このうち日本で唯一の県営バスである公営企業が1社、民間企業が13社であり、また10社が本土地域、4社が離島地域の事業者となっている。

令和3年度の輸送人員は、乗合バスは56,184千人で対前年度比0.2%の減少、貸切バスは1,041千人で対前年度比7.8%の減少となっている。

バス利用者は少子高齢化やマイカーの普及等により年々減少傾向にあり、バス事業を取り巻く環境は非常に厳しい。バスを含めた地域公共交通の維持・確保を図っていくため、コミュニティバスやデマンドタクシーなど持続可能な地域交通ネットワークの再編検討に取り組み、利用サービスの向上を進める必要がある。

また、令和元年度末から、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大きく落ち込んだこともあり、県においては、定期路線バス事業者や貸切バス事業者に対し事業継続等支援金を交付するなど、地域住民の移動手段の維持・確保に努めているところである。

(県交通政策課)

航空利用の概況

長崎空港利用者数の推移

(単位:人)

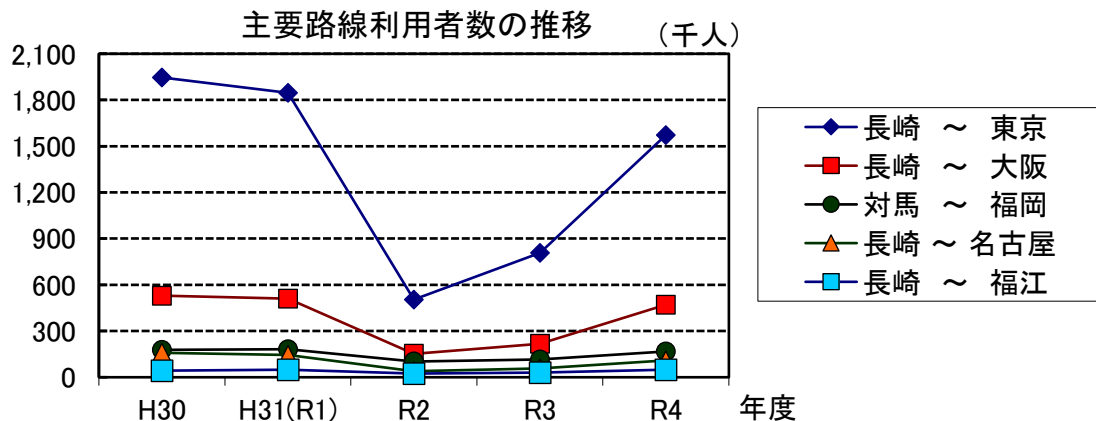
区 分	30年度	31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度
国 内 線	3,145,370	3,040,811	875,218	1,315,285	2,532,582
国 際 (定 期) 線	66,356	51,132	0	0	0
国 際 チ ャ ー タ ー 便	1,859	15,448	2	0	126
乳 幼 児	55,902	51,645	13,414	21,681	40,363
計	3,269,487	3,159,036	888,634	1,336,966	2,573,071

主要路線利用者数の推移

(単位:人)

区 分	30年度	31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度
長 崎 ～ 東 京	1,946,200	1,846,792	504,421	807,436	1,572,435
長 崎 ～ 大 阪	529,728	510,314	151,995	216,865	470,920
対 馬 ～ 福 岡	177,486	182,132	102,102	115,735	167,199
長 崎 ～ 名 古 屋	158,651	145,050	39,178	57,495	109,910
長 崎 ～ 福 江	43,050	48,771	23,932	31,049	48,631

注) 路線別利用者数に乳幼児は含まない。



本県における航空の歴史は、昭和35年4月、大村空港を国管理空港（旧第二種空港）として供用開始したことに始まり、昭和50年には世界初の本格的な海上空港「長崎空港」として生まれ変わり、さらに昭和55年には滑走路が2,500mから3,000mに延長された。県内には長崎空港のほか、五島つばき空港、壱岐空港、対馬やまねこ空港の4空港に定期便が就航しており、全国の主要都市をはじめ本土と離島とを結ぶ航空網を形成している。

長崎空港は本県の空の玄関口として、国内線は東京（羽田、成田）、大阪（伊丹、神戸、関西）、名古屋（中部）、県内離島の9路線36便、国際線は上海（浦東）・香港の2路線週6便となっている。令和4年度の長崎空港の利用者数は、令和2・3年度と比較し大きく回復したものの、全体合計、2,573,071人で、新型コロナウイルス感染症の影響を全く受けていない平成30年度と比較すると国内線で80.4%、全体で、78.7%であった（令和3年度比国内線192.4%、全体192.5%）。国際線は、定期路線の上海線、香港線ともに年間を通して引き続き運休となった。

また、離島の空港は、五島つばき空港と対馬やまねこ空港は長崎と福岡、壱岐空港は長崎と結ばれており、令和4年度の利用者数は421千人で、平成30年度比92.9%と新型コロナウイルス感染症の影響からほぼ回復し、生活路線としての役割を果たしている。

※ 路線数及び便数は令和5年5月1日現在の数字。

(県交通政策課)

海運（船舶）利用の概況

定期航路利用の概要

（国内）

（単位：千人、千台）

区 分		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
離島航路	旅客数	3,897	3,866	2,465	2,590	3,079
	車両数	387	400	300	316	344
本土間航路	旅客数	1,948	1,634	704	816	1,182
	車両数	649	618	378	414	526
計	旅客数	5,845	5,500	3,169	3,406	4,261
	車両数	1,036	1,018	678	729	870

注）平戸、福島、天草の航路を離島航路に含む。

（国際）

（単位：人）

区 分		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
対馬～釜山航路利用者数		849,975	308,928	-	-	4,963

本県における国内定期航路数は令和５年１２月末現在３８航路あり、このうち離島定期航路数は３３航路である。（休止中の航路を除く）

定期航路の令和４年度利用状況は、令和２・３年度と比較して回復したものの、旅客数は４，２６１千人でコロナ禍前の令和元年度と比較すると７７．５％に留まっており、このうち離島航路は３，０７９千人で令和元年度比７９．６％となった。車両航送台数は８７０千台で令和元年度比８５．５％、このうち離島航路は３４４千台で令和元年度比８６．０％となった。

県においては、航路事業者に対し、新型コロナウイルス感染症や燃料価格高騰等に係る支援を実施し、地域住民の移動手段の維持・確保に努めている。

また、国際定期航路については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度末から運休していたが、令和５年２月に比田勝～釜山航路が再開し、令和５年１２月現在、２社が運航中。
※厳原～釜山航路は、令和５年１２月現在運休中。

（県交通政策課）

64 道 路

(1) 実延長

単位：km

年 次	実 延 長				# 道 路 延 長			
	総 数	国 道	県 道	市町道	総 数	国 道	県 道	市町道
平成 31 年	17,822	765	1,682	15,375	17,625	717	1,621	15,287
令和 2 年	17,821	763	1,685	15,373	17,622	715	1,622	15,285
3	17,822	760	1,681	15,381	17,624	712	1,619	15,293
4	17,836	760	1,686	15,390	17,636	711	1,623	15,302
5	17,859	760	1,696	15,403	17,655	711	1,629	15,315

注) 1. 各年 4 月 1 日現在。
2. 国道及び県道は長崎県管理の道路現況について記載している。

(2) 道路現況 (令和5年4月1日現在)

単位：km

区 分	総 数	国 道	県 道	市町道
実 延 長	17,859	760	1,696	15,403
路 面 別	17,859	760	1,696	15,403
砂 利 道	1,195	-	18	1,177
舗 装 道	16,664	760	1,678	14,226
種 類 別	17,859	760	1,696	15,403
道 路 延 長	17,636	711	1,629	15,315
橋 り よ う 延 長	136	25	32	79
ト ン ネ ル 延 長	68	24	35	9
改 良 ・ 未 改 良 別	17,859	760	1,696	15,403
改 良 済	10,019	736	1,340	7,943
未 改 良	7,840	24	356	7,460
(#) 自動車交通不能	2,333	-	23	2,310

注) 国道及び県道は長崎県管理の道路現況について記載している。
資料 県道路建設課調

64 道 路 (続)

(3) 橋りょう

単位：個、m

区 分	令和2年		3年		4年		5年	
	個 数	延 長	個 数	延 長	個 数	延 長	個 数	延 長
総 数	1,598	55,825	1,594	55,801	1,598	55,906	1,605	56,741
鋼 橋	126	17,870	125	17,857	125	17,857	126	17,904
石 橋 お よ び コ ン ク リ ー ト 橋	1,435	33,496	1,432	33,485	1,436	33,590	1,441	34,337
木 橋	1	5	1	5	1	5	1	5
鋼 橋 と コ ン ク リ ー ト 橋 と の 混 合 橋	36	4,454	36	4,454	36	4,454	37	4,495
鋼橋又はコンクリート橋 と木橋又は石橋との混合 橋	-	-	-	-	-	-	-	-

資料 県道路建設課調

(4) 有料道路の利用状況

単位：台／日

年 度	長崎自動車道インターチェンジ別 出 入 交 通 量						長崎バイパス 出入交通量	
	長崎	芒塚	長崎 多良見	諫早	大村	東そのぎ		# 川 平 有料道路
令和 2 年度	10,461	1,924	12,685	15,471	8,699	4,467	34,188	14,788
3	11,068	1,963	13,384	16,345	9,409	4,739	34,702	15,188
4	12,790	2,270	15,143	18,879	10,685	5,124	36,090	15,886
年 度	西九州自動車道 出 入 交 通 量				ながさき 出島道路 出 入 交 通 量	西海パー ルライン 有料道路 出 入 交 通 量	ながさき 女神大橋 道路出入 交 通 量	
	佐世保三川 内IC本線料 金 所 通 過	佐世保三 川 内 IC 出 入	佐世保 大塔IC 本線料金 所通過	佐世保 大塔IC 出入				
令和 2 年度	6,289	2,679	4,833	20,244	6,156	6,806	7,858	
3	6,767	2,806	5,092	20,436	6,557	7,167	8,003	
4	7,914	3,078	5,783	20,544	7,799	7,247	7,974	

資料 西日本高速道路(株)調、長崎県道路公社ホームページ

65 保有車両数

単位：両

年 度 末	総 数	登 録 車 両				
		計	貨 物 用			
			普 通 車	小 型 車		被牽引車
				四 輪	三 輪	
平成 30 年度末 令和 元 年度末 2 3 4	954, 522	408, 964	18, 880	28, 805	13	559
	924, 735	407, 637	19, 127	28, 579	13	574
	927, 300	407, 453	19, 281	28, 519	14	598
	956, 352	405, 614	19, 472	28, 381	14	631
	927, 966	404, 458	19, 689	28, 425	14	668
年 度 末	登 録 車 両 （ 続 き ）					
	乗 合	乗 用		特 種 用 途		大 型 特殊車
		普通車	小型車	普通車	小型車	
平成 30 年度末 令和 元 年度末 2 3 4	4, 394	148, 670	190, 318	12, 948	1, 680	2, 697
	4, 330	152, 280	185, 351	13, 006	1, 693	2, 684
	4, 201	156, 381	181, 014	13, 038	1, 718	2, 689
	4, 032	159, 126	176, 525	12, 995	1, 753	2, 685
	3, 918	162, 027	172, 375	12, 947	1, 732	2, 677
年 度 末	新規検査	届出車両（軽自動車）				
	小型二輪車	計	四 輪			三 輪
			貨物用	乗用	特種	
平成 30 年度末 令和 元 年度末 2 3 4	16, 446	529, 112	136, 611	361, 231	1, 896	16
	16, 655	500, 443	135, 613	362, 886	1, 928	16
	17, 252	502, 595	135, 676	364, 999	1, 907	13
	17, 803	502, 991	135, 781	365, 291	1, 907	12
	18, 401	505, 107	136, 199	366, 937	1, 925	15

資料 九州運輸局「自動車保有車両数」、長崎県軽自動車協会調

66 鉄 道 運 輸

単位：人、t

年 度		旅		客	貨物（コンテナ・車扱）	
		乗 車 人 員		降 車 人 員	発 送	到 着
		普 通	定 期			
		九州旅客鉄道(株)			日 本 貨 物 鉄 道 (株) 九 州 支 社	
平成	30 年度	…	…	…	24,285	27,130
令和	元 年度	…	…	…	27,250	31,830
	2	…	…	…	23,110	30,986
	3	…	…	…	23,996	27,849
	4	…	…	…	27,737	27,143
		島 原 鉄 道				
平成	30 年度	535,795	764,820	1,300,615	－	－
令和	元 年度	546,154	751,140	1,297,294	－	－
	2	370,369	631,860	1,002,229	－	－
	3	409,063	621,720	1,030,783	－	－
	4	474,381	617,220	1,091,601	－	－
		松 浦 鉄 道				
平成	30 年度	840,620	1,457,250	2,292,949	－	－
令和	元 年度	834,146	1,367,153	2,204,371	－	－
	2	616,394	1,178,044	1,796,645	－	－
	3	631,998	1,239,610	1,873,919	－	－
	4	1,246,120	832,383	2,075,521	－	－

注) 1. 松浦鉄道は長崎・佐賀両県で営業しているが、長崎県分のみ計上。

2. 日本貨物鉄道(株)九州支社は長崎駅分のみ計上。

3. 九州旅客鉄道(株)は平成29年度分から非公表。

資料 九州旅客鉄道（株）、島原鉄道、松浦鉄道、日本貨物鉄道（株）九州支社調

67 乗 合 自 動 車 輸 送

単位：km、人

年 度	乗 合			貸 切	
	走行キロ	輸 送 人 員	# 定期	走行キロ	輸送人員
平成 30 年度	67,395,415	76,839,765	23,082,952	13,406,190	3,078,006
令和 元 年度	64,316,066	72,536,855	21,929,178	11,549,013	2,561,774
2	58,005,923	56,228,499	19,261,087	3,370,127	1,080,866
3	56,174,092	56,090,089	19,019,269	4,032,847	994,964
4	51,738,761	57,211,582	18,580,950	6,602,520	1,369,706

資料（一社）長崎県バス協会調

68 航 空 便 利 用 状 況

(1) 定期便

単位：人

年 次	総 数		東京線（羽田）		東京線（成田）		大阪線（伊丹）	
	乗 客	降 客	乗 客	降 客	乗 客	降 客	乗 客	降 客
令和 2 年度 3	510,443	513,965	227,836	233,342	20,999	22,244	58,518	60,248
	746,690	748,881	340,210	350,165	57,817	59,244	79,927	81,792
4	1,391,680	1,412,310	667,837	694,802	104,065	105,740	165,720	170,044
年 次	名古屋線（中部）		神 戸 線		大阪線（関西）		沖 縄 線	
	乗 客	降 客	乗 客	降 客	乗 客	降 客	乗 客	降 客
令和 2 年度 3	19,086	20,092	41,177	39,695	16,670	16,559	733	764
	29,085	28,410	61,239	59,281	28,109	27,037	627	604
4	54,379	55,531	114,666	118,869	69,254	65,950	424	555
年 次	福 江 線		壱 岐 線		対 馬 線		韓 国 線	
	乗 客	降 客	乗 客	降 客	乗 客	降 客	乗 客	降 客
令和 2 年度 3	12,583	11,349	10,908	11,451	25,340	24,832	-	-
	16,231	14,818	12,315	13,222	26,970	26,495	-	-
4	26,552	22,079	15,665	17,406	31,283	30,664	-	-
年 次	中国線（香港）		中国線（上海）		対馬～福岡		福江～福岡	
	乗 客	降 客	乗 客	降 客	乗 客	降 客	乗 客	降 客
令和 2 年度 3	-	-	-	-	51,636	50,466	24,957	22,923
	-	-	-	-	59,501	56,234	34,659	31,579
4	-	-	-	-	85,908	81,291	55,927	49,379

注）乗降客は有償利用者である。

(2) 長崎空港国内チャーター便 単位 便、人

年 次	総 数	
	便数	人員
令和 2 年度 3	25	792
	38	1,684
4	25	1,097

(3) 長崎空港国際チャーター便

単位 便、人

年 次	総 数		ソ ウ ル		台北・高雄		そ の 他	
	便数	人員	便数	人員	便数	人員	便数	人員
令和 2 年度 3	1	2	-	-	-	-	1	2
	-	-	-	-	-	-	-	-
4	4	126	-	-	-	-	4	126

注）乗降客は有償利用者数である。

資料 県交通政策課調

69 船舶乗降人員

単位：人

年次	乗込人員			上陸人員		
	総数	#長崎港	#佐世保港	総数	#長崎港	#佐世保港
平成30年	5,080,435	1,376,974	551,215	5,082,421	1,390,443	557,443
令和元年	4,730,847	1,198,359	488,801	4,744,739	1,209,198	495,460
2	2,321,971	351,330	226,567	2,306,072	357,347	229,075
3	2,180,679	297,338	221,850	2,175,363	299,563	221,208
4	2,664,384	450,155	240,819	2,679,019	459,191	243,510

注) 総数は県内38港の合計である。
資料 国土交通省「港湾統計(年報)」

70 電話及び携帯電話等契約数

(1) 電話契約数(各年3月31日現在)

年	加入電話			1) 公衆電話	
	総数	2) 事務用	住宅用	アナログ	デジタル
	回線	回線	回線	個	個
令和3年	214,126	39,677	174,449	1,280	402
4	197,239	36,803	160,436	1,180	386
5	179,244	34,012	145,232	1,093	337

1) 設置台数。 2) ビル電話を含む。
資料 NTT西日本「電気通信役務契約等状況報告」

(2) 携帯電話等契約数(各年3月末現在)

単位：契約

年	携帯電話	I S D N (総合デジタル 通信サービス)	B W A	F T T H	D S L	C A T V	F W A
令和3年	1,332,895	17,385	491,178	285,281	18,874	48,729	93
4	1,342,631	15,718	485,352	303,474	13,224	46,474	43
5	1,322,342	13,770	459,747	331,041	6,530	43,042	33

資料 NTT西日本「電気通信役務契約等状況報告」総務省「情報通信統計」

71 効力別旅券発給件数

単位：件

効力別	平成30年	令和元年	2年	3年	4年
発給件数	29,127	29,577	6,987	2,588	6,388
数次往復用	29,123	29,575	6,985	2,588	6,388
新規	29,123	29,575	6,985	2,588	6,388
再発給	-	-	-	-	-
限定	4	2	2	-	1
新規	4	2	2	-	1
再発給	-	-	-	-	-

資料 県民センター調

72 放送受信契約数・衛星契約数

(各年3月末現在)

年次	世帯数	放送受信契約数	衛星契約数(再掲)
		契約数	契約数
平成 31 年	559,285	515,635	210,352
令和 2 年	559,378	518,998	215,353
3	556,715	515,144	212,078
4	555,182	512,434	210,014
5	556,679	506,761	207,153

注) 世帯数は各年4月1日現在。

資料 日本放送協会「放送受信契約数統計要覧」、県統計課「長崎県異動人口調査」